

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月24日更新

事務事業名		図書館電算管理システム維持管理事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会	課長名	上原 哲也	
	施策	21	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	前田 美和	
	基本事業	69	生涯学習施設(環境)の整備					所属班	図書館班	(内線)	2536	
予算科目		会計一般	款10	項5	目8	事業連番11164	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ③				
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	図書館電算システムの維持・管理、利用者向けインターネット端末の維持・管理・現在の図書館運営は電算システムは欠かせないものであり、開館時より運用している。合併に伴い、両町のシステムを統合した。インターネットの普及により、蔵書の検索がホームページより行えるようなシステムを構築した。新システムでは蔵書の情報をインターネットに公開し、利用者に情報を公開している。合併時に導入した図書館システムの更新を3月に行った。
【業務の流れ】	トラブル時の対応、機器故障時の修繕、プリンタトナー等消耗品手配、各種統計作業
【主な予算費目】	委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	住民より、利用者検索端末の操作性(分かりにくい、使いにくい)に関する意見がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
図書館システムの維持管理・利用者向けインターネット端末の維持管理を委託し、システムの安定稼働につとめた。24年度システムの更新予定のため、準備を行う。		システムの安定稼働のための保守を行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 登録者数	人	図書館システム更新による委託料と使用料及び賃借料の増
イ 蔵書数	点	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
図書館電算管理システム		→ ア システムの稼働時間
		イ システムの稼働時間
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
円滑な図書館運営を行うシステムの安定稼働を図る		→ ア トラブルの件数
		イ システムの停止時間
* ③ 成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠 維持管理の事業のためトラブル件数等の指標とした。 経年により若干増えたと予想した。		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
投 入 費 用 量	事業費	人	33,281	33,551	34,000	28,715	34,000	34,000	34,000	34,000
		点	317,000	318,000	321,000	323,729	323,000	323,000	323,000	323,000
		時間	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920	2,920
		件	3	6	1	5	1	1	1	1
		時間	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	人	3	3	1	5	1	1	1	1
		時間	160	165	384	612	384	384	384	384
		千円	659	666	1,550	2,491	1,550	1,550	1,550	1,550
		千円	2,953	2,962	8,074	4,563	9,910	9,091	9,091	9,091
		千円	2,953	2,962	8,074	4,563	9,910	9,091	9,091	9,091

事務事業名	図書館電算管理システム維持管理事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 深刻なトラブルは発生しなかったが、経年によりマイナートラブルはいくつか発生した。	☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 経年により多少のトラブルが予想されるが、システム停止する程のトラブルは発生しない考える。	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 現状の達成状態を維持するための事業であり、向上余地はない。	☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 図書館独自のシステムのため統合等ができない。なお、施設間の通信回線については情報広報班敷設回線を利用している。	☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 サービスを維持するための必要最小限の経費である。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 現在委託で行っており、人件費の削減余地は限られる。	☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 サービスを維持するための経費であり公平である。	☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 現在図書館に設置しており適正である。	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

導入後7年が経過するため、機器の故障が若干増加した。平成25年3月に図書館システム更新を行った。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 平成25年3月に図書館システム更新を行った。				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												